

## 単元名 人を引きつける表現

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 比喻や反復などの表現の工夫に気付くことや、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにすることができる。
- (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。
- (3) 比喻や反復などの表現の工夫をして、説明する文章を書こうとする。

## 標準的な展開例

06010305\_001

【教材名】人を引きつける表現 (P. 204～P. 207)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 表現の工夫を知る。</p> <p>★気に入った表現について説明しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で目にする「人を引きつける表現」を想起する。</li> <li>言葉について考えることを確認し、「気に入った表現について説明しよう」というめあてを立てる。</li> <li>教材文を読み、さまざまな表現の工夫があることを捉える。</li> </ul> <p>2 気に入った表現について説明する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書にある物語や詩、文章から、心が引かれる表現を見つけて書き写す。</li> <li>選んだ表現について、どのような工夫や効果があり、自分がどう感じるのかを書く。</li> </ul> <p>3 書いた文章を交流し、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書いた文章を友達と読み合う。</li> </ul> <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の教材文や歌の歌詞、CMなどのキャッチコピーなどを思い出させる。</li> <li>表現の工夫は新たに学ぶことではなく、倒置法や反復、比喻やオノマトペなど、既習の文章の中で出会っていることを確認する。</li> <li>五七調など、調子のよいリズムについては声に出して確かめさせたい。</li> <li>表現を変えるとどのように印象が変わるかも試させる。</li> <li>【評】教材文を読む活動を通して、表現の工夫に気付く「知識・技能」を評価する。</li> <li>前時までに資料を準備するように予告しておく。</li> <li>学級の実態に応じて、ペアやグループで考えさせてもよい。</li> <li>【評】表現について書く活動を通して、語感や言葉の使い方に対する「知識・技能」を評価する。</li> <li>【評】表現について書く活動を通して、文や文章を整える「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】表現について書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>友達に感想を伝える活動も考えられる。その際には書いた本人の感覚を尊重する。異なる意見を伝える場合には、あくまで自分の考え方であるとして配慮させる。</li> <li>人を引きつける表現について、これから自分がどのように向き合っていきたいかを書かせる。</li> </ul>

【 備 考 】